トヨタコレクション企画展関連イベント

企画展開催期間 10/3(土)▸12/13(日)

華ひらく ジャポニスム

Japonisme in Bloom

―技術と美術の文明開化―






講演会

2026
10/25(日)

参加費無料

［時 間］14:00～15:30
（開場は13:30）
［会 場］ホールA
［定 員］先着100名
［申 込］事前申込不要

［講演概要］
ジャポニスム～風土が生んだ「用の美」と「モノづくり」

●講師 鈴木 一義 氏
（国立科学博物館名誉研究員）



トヨタ産業技術記念館

ジャポニスム〜風土が生んだ「用の美」と「モノづくり」

明治初期、御雇い外国人ワグネルが日本政府に提出した『工業の方針』には、「日本の工業を外国の競争に対して拒かんと欲せば、日本固有の味わいと其美術心とを永久に保存し、日本人民をして決して之を忘れしむべからず」と記され、まず第一に、日本人が育んできた「感性の技」の素晴らしさを指摘している。
江戸時代は、貴族や武士、農民、職人など、日本の人々がそれぞれの生活や社会のなかで「感性の技」を育み、磨き上げる余裕を持つことができた時代であった。その技から生み出されたモノは、例えばヨーロッパで「japan」と称された漆器をはじめ、漆工品や陶磁器、染織品などの「雅の芸術品」である。またその技は、柳宗悦らが後に「民芸」と呼んだ、浮世絵のような日常のありふれたモノづくりに潜む俗の美、すなわち「用の美」をも生み出した。このように、「雅」と「俗」が高い次元で両立していたことこそ、ジャポニズムの本質ではなかろうか。



講師　鈴木 一義 氏
国立科学博物館 名誉研究員

【鈴木 一義 氏 プロフィール】
1957年生まれ。江戸時代以降のモノづくりや自動車・航空・宇宙技術研究の第一人者。国立科学博物館において、日本の科学技術史を幅広く調査・研究し、博物館の広大な展示を完成させた中心人物。当館設立時の展示監修委員も歴任し、現在は国立科学博物館名誉研究員。
主な著書：『からくり人形』(学研グラフィックブックス、1994年)、『直伝 和の極意 あっぱれ！江戸のテクノロジー』(NHK出版、2011年)、『八百八知恵　江戸の科学』(別冊宝島、2016年) など。

会場のご案内



ご 案 内

●開館時間／9:30〜17:00(入場受付は16:30まで)
●休館日／月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
●入場料／大人1,000円・65歳以上600円・大学生500円
中高生300円・小学生200円
※障害者手帳をお持ちのご本人とその付添の方1名は無料

交　通

●名鉄／名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分
●なごや観光ルートバス「メーグル」／名古屋駅バスターミナル11番のりば「トヨタ産業技術記念館」(敷地内)下車すぐ
●「名古屋駅」からタクシー利用で5分
P 無料駐車場(乗用車220台、大型バス10台)



トヨタ産業技術記念館
〒451-0051 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号
TEL：052-551-6115　FAX：052-551-6199

フォロワー募集中!
Webサイトはこちら!
https://www.tcmit.org/